

産業構造審議会 製造産業分科会 車両競技小委員会（第17回）  
議事要旨

<日時>：令和4年5月26日（木曜日）14時30分～16時30分

<場所>：経済産業省別館2階第231会議室及びオンライン開催

<出席者>

三屋委員長、大西委員、絹代委員、根岸委員（web参加）、松田委員（web参加）、山本委員（web参加）  
岩城オブザーバー、奥野オブザーバー、佐久間オブザーバー、笹部オブザーバー

<議題>

- （1）競輪・オートレース業界の現状
- （2）競輪中期基本方針の進捗状況
- （3）女子レースの展望
- （4）オートレース中期基本方針の進捗状況

<議事概要>

三屋委員長により、議題に沿って進行。

議事に先立ち、事務局から、会議及び配付資料公開とすることを説明し各委員了承。

事務局、JKA、全国競輪施行者協議会、全国小型自動車競走協議会から説明があった後、各委員等から意見が述べられた。主な意見と質疑応答は以下のとおり。

#### 議題(1) 関連

- インターネットによるギャンブル依存症の増加の報道があるが、どのような対策をしているのか。また、政府のギャンブル依存症対策の状況を教えてほしい。
- 公営競技については横並びを取って対策を講じており、例えば、サイトでの車券購入の際の注意喚起メッセージ、ATMの撤去、購入限度額の設定などに取り組んでいる。
- 大阪万博はSDGsがメインテーマになっているが、資金的協力以外の取組については検討しているのか。
- 現在博覧会協会と協議中であり、具体的な中身は今後決まっていく予定。

#### 議題(2) 関連

- 2019年以降ポートレースの売上が急増している要因は何か。要因を分析すれば競輪の方でも参考になるのではないかと。
- ポートレースは競輪に比べて、開催日数・回数が多いことや、本場の稼働率が高いことなどが考えられる。
- 近年の売上増加の要因として、チャンネル、時間帯、ユーザー数、一人当たりの消費金額など、個別の要因が分析できれば、今後の戦略を立てやすくなるのではないかと。
- チャンネル別では民間のポータルサイトの躍進、時間帯別ではミッドナイトや朝の時間帯への振り分け、それによる時間帯の競合のないファンの獲得などが考えられる。なお、ユニークユーザーのデータについては、民間ポータルサイトからデータをもらい分析しているところ。
- 補助事業について、福祉車両に着目したり、ロゴデザインを工夫しているなど非常にわかりやすくなった。コマースやロゴデザインの活用以外に補助事業の広報の方策があれば教えてほしい。
- これまで事務手続きに過ぎなかった交付決定について、地域に根差した事業とするために、交付式・伝達式という形で全国に赴いて展開している。
- ナイター開催を増やすことによって、労働条件等に関しては負担が大きくなると思われるところ、ネガティブな要素が増える懸念はないのか。
- 競艇に倣い、競輪についてもチャンネル全体で売っていきこうという構造にシフトしている中で、1兆円の売上目標達成のためには、日数増加は必要条件になると考えている。

●競馬では「ウマ娘」が流行っているが、競輪でもマーケティングの一つとしてゲームを活用できないのか。

○ゲームを通じた新しい購買層はインターネットに慣れているため、競輪においても、こうしたフロンティアを開発することによって、新たなファン獲得が必要になると考えている。

●オランダでは、団体のツーリング、道路の整備、競技用のファッションなど、自転車に関する取組が先進的である。我が国の自転車の文化を深めるために、こうした取組をマーケティングの中で活用すべき。

### 議題(3) 関連

●選手の人材育成についての展望と課題を教えてください。

○競技人口のうち女子の占める割合は1割程度。女子競輪の復活に伴う発掘事業として、伊豆の養成所において、ガールズサマーキャンプを2010年頃から展開している。

●女子競輪のハード面での環境整備について具体事例を教えてください。

○入浴施設やトイレを男女別に分けるなどしている。

●「ガールズ」という言葉が持つ響きには懸念がある。言葉自体を否定しているわけではないが、女性アスリートに対するリスペクトが足りない面があるのも事実であるため、ロゴの出し方や愛称としての位置付けなどを考慮しながら、リブランディングをしてほしい。

○「ガールズ」に対するお客さんの評価は10年前と比べると変化しており、これまでと一緒というわけにはいかないと認識している。他方で、愛称そのものについては男子・女子と分かるようにしていかなければならないとも考えている。女子選手数の拡大に努めつつ、お客さんとの関係性をきちんと評価しながらやっていきたい。

### 議題(4) 関連

●オートレースの公式ネット投票サイトのリニューアルについて、どのような点が変わったのか。

○入金方法が多様化した点や、ベットの仕方が便利になった点など。発展性という点で、新しい重勝式車券やキャッシュレスシステムにリンクできるようになった点。

お問い合わせ先

製造産業局 車両室

電話：03-3501-1694